

アセスメント情報整理シート (ICF に情報を当てはめた事例)

健康状態
(変調または病気) 老年期認知症、左大腿骨警部骨折術後、両足に骨折

今はこういう病気

こういう機能を残在し
使っている

行えなくて困っている事や
取り組めない事

十分でなくてもうまく関わってい
きたいと願っている

心身機能・身体状態 (生命レベル)
トイレにいてもここがトイレだとはわからない
尿意、尿意が分からない
食べ物を認知できない
食事の食べ方が分からない
言葉の意味が分かる時とわからないときがある

活動 (生活レベル)
歩くことが出来ない
一人で立ち上がることが出来ない
衣類の着脱ができない
手づかみで食べようとすることがある
トイレで排泄するのに時間がかかる
複雑な会話ができない

参加
隣に座っている人に話しかけることが出来る
職員と簡単な会話ができる
物盗まれ妄想は今のところない
他の利用者とボール遊びや風船バレーを楽しむこ
とができる
つじつまは合わないが会話ができる

「活動・参加の」助けとなる
情報

こういう障害を抱えて
機能が低下している

私はこういう人です

環境因子
週 2 回ほど妹との面会がある
娘は持病があり無理はできない
自宅には段差がある
子供は一人
ご飯が認識できない
移譲時は 2 人で本人を抱えている
施設内はバリアフリー、日中ユニットのリビングは部屋
から少し離れたところにある

個人因子
人のお世話が好き
農業を営み、働き者だった
笑顔や笑い声が多い
骨折するまでは不安定ながらも自由に歩くことが出来た。
立ち上がった時移譲時に職員の腕や身体を触って話さず、
抵抗してなかなか椅子に座ろうとしない